

# 動脈硬化症の治療

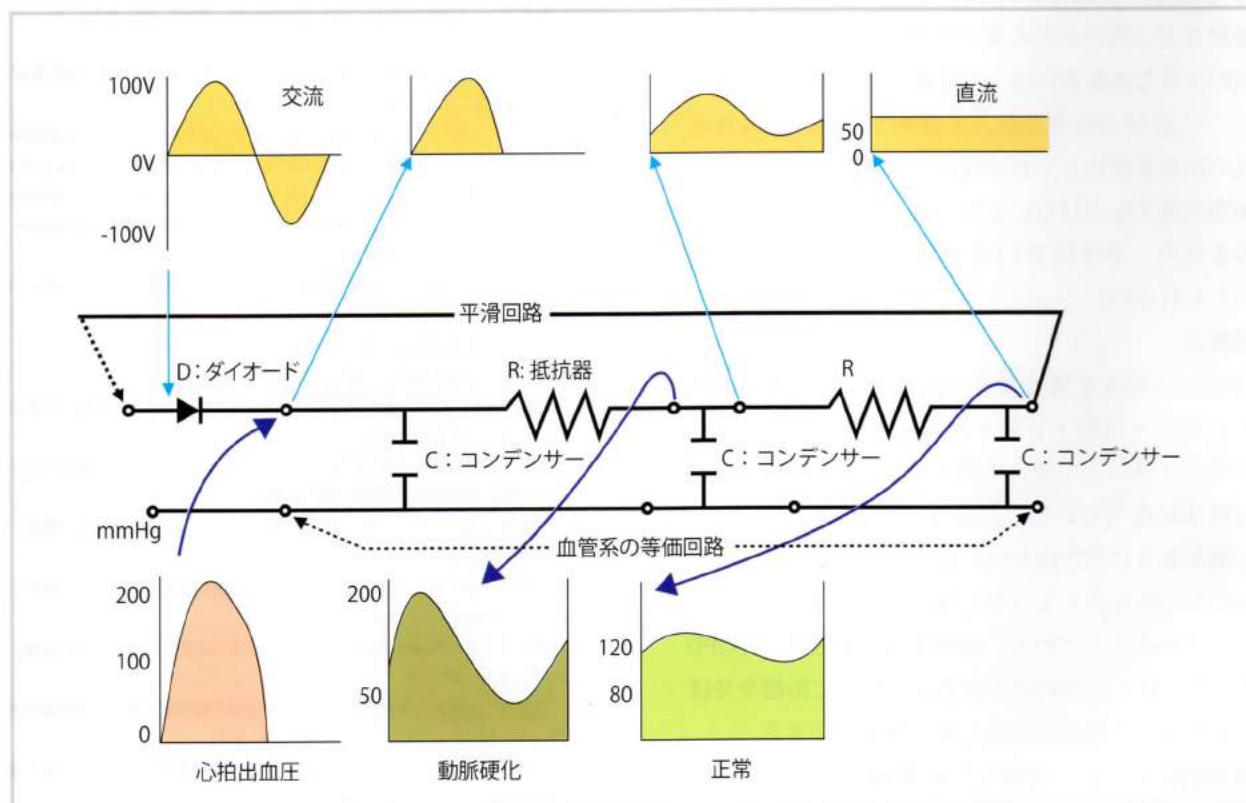
小川 勇 小川（漢方）医院（神奈川県横浜市）

## 動脈硬化症とは？

動脈硬化症とは、動脈が硬くなることだが、硬くなるとどうなるのであろうか？ 心臓が収縮すると血液が大動脈へ押し出され、その血流のEnergyを大動脈はふくらんで（膨張、伸展、拡張）吸収し蓄える。このときの血圧が収縮期血圧である。次に心臓が拡張すると、心臓からの血流は来ないから、大動脈壁はふくらみが元に戻り、ふくらんで蓄えたEnergyと

血液を血管に戻す。このときの血圧が拡張期血圧である。正常なら、収縮期血圧 120mmHg, 拡張期血圧 80mmHg などといわれる。ところが動脈が硬くなると、この作用が小さくなる。すなわち、大動脈での心臓からのEnergy吸収が少なくなる。すると拡張期、血管壁での血液の戻りも少なくなる。そして心臓からの拍出血圧がそのままに近い形で伝わり、収縮期血圧は高く、拡張期血圧は低くなる。動脈硬化では収縮期血圧 200mmHg, 拡張期血圧 40mmHg などとなり、

図 交流を直流に変える平滑回路



心拍出血压は動脈系の弾力により平滑化される。肘部で測られる血圧は、動脈硬化で血管の弾力（C：コンデンサーに相当）が低下すると、心拍出血压に近くなる。

脈圧 200 mmHg - 40 mmHg = 160 mmHg と大きくなる。心臓側からみると血管が硬くなるから抵抗が増え、心臓が余計働く必要がある。すなわち心臓が疲れる。これが加齢による老人の血圧の状態である。

このことは図に示されるように、電気的等価回路で Simulation される。すなわち、動脈壁の弾力 (C:Capacitance に相当) が小さくなることにより、平滑作用 (なめらかにする作用) が少なくなり、心臓からの拍出血圧が、ほぼそのままの形で肘部で測られる。これは Macro 的な話である。一方, Micro 的にみると、赤血球は血管壁に蓄えられた Energy による脈流で、細胞に血液で運ばれ O<sub>2</sub> や栄養を供給するが、血管壁が硬くなると、これに蓄えられる Energy が少なくなり、脈流により運ばれる血液が少なくなり、栄養状態が悪くなる。そしてだんだんと体力が弱り、免疫力が低下し、生命活動が衰え、やがて老衰となる。

これが加齢による動脈硬化である。特に心臓より遠い足ではこの影響が大きく、血行が悪くなり歩行障害が現れることが多い。それ故、漢方薬で血行を良くすれば筋肉への血行も良くなり歩けるようになる。そして、膝等の関節を修復し、その代謝産物や痛みの物質を洗い流す。この治療法は Anti-Ageing (抗老化) を目指し、Anti-Ageing Therapy といえる。

## 動脈硬化の漢方療法

動脈硬化は漢方的には血瘀である。治療には活血剤を用いる。そこで当院受診者のうち、下肢の血行障害によると思われる歩行障害患者に活血剤である疎経活血湯エキス剤を投与し、その前後での臨床症状の変化を観察した。結果は表 1 に示すごとく、110 症例でほぼ良好な結果を得た。主な症例を報告する。

### 症例 1

**患者** K.Y. 63 歳, 男性。

**主訴** 膝痛。

**現病歴** 2 年前階段を駆け上り、左の膝の裏がガクツとして激痛が走った。

**現症** 身長 167cm, 体重 62kg, 血液型 A 型。両下肢冷, 左脚深部血栓 (左鎖骨骨折の手術時)。

**治療と経過** 疎経活血湯エキス剤・当帰四逆加呉茱萸

生姜湯エキス剤・八味地黄丸エキス剤を投与したところ軽快した。

### 症例 2

**患者** Y.F. 73 歳, 女性。

**主訴** 左膝痛。

**現症** 身長 148cm, 体重 52kg。血液型 A 型。

**治療と経過** 疎経活血湯エキス剤と八味地黄丸エキス剤を投与したところ、軽快した。さらに麻黄附子細辛湯エキス剤を加え、85 歳の現在も元気に活動している。

### 症例 3

**患者** K.T. 74 歳, 男性。

**主訴** 両足先がジンジン (母も同じ)、ピリピリし、温めるとよい。手・下半身冷。腰冷重痛。怒りやすい・赤ら顔・目充血。右脚静脈瘤。

**現症** 身長 160cm, 体重 63kg。血液型 A 型。タバコ (80 本 / 日) は 24 年前に止めた。酒 (ビール 2.6L / 日) を 10 年前に止めた (日本酒か赤ワインを勧めた)。

**診断** 脊柱管狭窄症・動脈硬化症。

**治療と経過** 他院でオパルモン (プロスタグランジン E1 類) 30 μg 使用でやや改善したが、当院で疎経活血湯エキス剤と当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス剤投与したところ、かなり改善した。腰の違和感には八味地黄丸エキス剤追加にて改善。現在、痺れがやや残るのみとなった。

### 症例 4

**患者** O.K. 87 歳, 男性。

**主訴** 腰くだけ・尻もち (6 回 / 日)・歩行困難・傾眠・低血圧 79/55mmHg (以前は 130/80 mmHg)・言語不明瞭。

**現症** 身長 185cm, 体重 64kg。血液型 O 型。

**既往歴** 20 歳時、肺結核・片腎摘出。75 歳時、背骨圧迫骨折。77 歳時、インフルエンザ～肺炎と肺機能低下し、肺気腫。78 歳時、糖尿病の治療。81 歳時、歩行時に杖が必要となった。

**診断** 動脈硬化症・心不全。

**治療と経過** 疎経活血湯エキス剤と炙甘草湯エキス剤



表1 疎経活血湯による治療成績 (110 症例)

No	患者名	性別	年齢	身長 cm	体重 kg	血液 型	併用薬	歩行障 害改善									
									55	K.M.	女	77	150	45	O	7	+
									56	S.T.	女	77				7	+
1	A.S.	女	91	147	55		7	+	57	S.S.	男	74	162	70	A	7	+
2	A.K.	男	78	170	82	A		+	58	S.K.	男	63	162	62	B	38	+
3	A.M.	女	83	150	45		7・38	+	59	S.I.	男	64	173	70	A		+
4	A.R.	女	70	151	46	O		+	60	S.M.	女	84	143	48		7	+
5	A.N.	女	88	150	39	B	7	+	61	S.T.	女	55	160	66	O		+
6	A.K.	男	83	173	73		7	+	62	S.M.	女	62	158	52	A	7	+
7	A.E.	女	59	156	55	O		+	63	S.Y.	女	65	154	56	A		+
8	A.N.	女	84	158	46	A	7	+	64	S.E.	女	71	155	50	A		+
9	I.M.	男	76	162	65		7	+	65	S.M.	男	77	165	66	B	7	+
10	I.T.	男	73	170	60	O	7・38	+	66	S.N.	女	71	151	48	B		+
11	I.M.	男	84	157	58	O	64	+	67	T.Y.	女	56	159	75	A	7	+
12	I.S.	女	81	161	58	A		+	68	T.T.	男	64	150	57	O	7	+
13	I.K.	女	83	150	60	A	7	+	69	T.Y.	女	56	161	58	A	7	+
14	I.Y.	女	82	153	43	A		+	70	T.E.	女	52	152	59	O	7	+
15	I.E.	女	60	155	70	A	7	+	71	T.K.	女	80	160	58	B	7	+
16	I.T.	男	73	164	66	A	7	+	72	D.H.	女	87	150	51	B		+
17	I.K.	女	75	157	64		7・64	+	73	T.K.	女	79	149	43	O	7	+
18	U.T.	女	75	153	55	A		+	74	N.K.	男	75	160	57	O	12	+
19	U.M.	女	79	154	68		7	+	75	N.M.	男	88	150	51	O		+
20	U.H.	男	72	168	59	AB	7	+	76	N.K.	男	61	170	73	O		+
21	U.F.	女	78	153	49	O		+	77	N.S.	女	56	154	65	O		+
22	U.K.	女	81	150	55	O	7	+	78	N.Y.	女	87	152	63	A	7	+
23	U.F.	男	88	161	51	O	7	+	79	N.T.	女	71	156	46	A	38	+
24	U.T.	女	79	155	50	B		+	80	N.F.	女	51	157	44	B	64	+
25	U.M.	女	71	150	50	B	7・38	+	81	N.T.	男	79	163	65		7・64	+
26	E.F.	女	75	150	57	A	7	+	82	N.A.	女	81	153	59		7・64	+
27	O.S.	女	83	163	65		7	+	83	H.S.	女	65	160	52	A		+
28	O.H.	男	88	161	63		7	+	84	B.K.	女	67	148	56	O		+
29	O.T.	男	61	180	102			+	85	B.M.	男	67	173	62	B	7・64	+
30	O.H.	男	69	161	63	O	7	+	86	H.H.	女	84	149	50	AB	7	+
31	O.K.	男	81	165	60	A	7	+	87	H.M.	女	59	171	60	A		+
32	O.K.	男	87	185	64	O	64	+	88	F.T.	女	81	157	46	B		+
33	O.K.	男	76	161	53	A		+	89	F.N.	男	84	152	63	B	7	+
34	O.I.	男	67	170	75	A	7	+	90	F.K.	女	58	140	66	A		+
35	O.K.	女	62	155	55	A		+	91	H.Y.	女	74	150	39	A		+
36	O.H.	男	95	150	55		7	+	92	H.J.	女	61	158	62	O		+
37	O.H.	女	91	151	57		7	+	93	M.T.	女	64	165	90		7	+
38	O.Y.	男	68	164	52	A		+	94	M.T.	男	85	163	65	A	7	+
39	O.T.	女	78	152	52			+	95	M.S.	女	74	160	55	AB		+
40	O.S.	女	89				7	+	96	M.T.	男	67	170	67	O	7	+
41	K.S.	男	65	157	45	O		+	97	M.R.	女	72	152	52		7	+
42	K.H.	男	76	160	67		7	+	98	M.N.	女	53	149	60	AB	7	+
43	K.K.	男	97					+	99	Y.T.	男	65	168	62	A	7・38	+
44	K.M.	女	69	157	62	A	7	+	100	Y.F.	女	73	148	52		7	+
45	K.T.	男	74	160	63	A	7・38	+	101	Y.T.	男	80	145	45	A	7	+
46	K.Y.	男	63	167	62	A	7	+	102	Y.I.	男	79	168	62	A	7・38	+
47	K.M.	女	74	149	50	O	7・38	+	103	Y.K.	男	79	169	55		7	+
48	K.R.	女	89	150	44	B	7	+	104	W.T.	女	74	140	42	O	7	+
49	K.K.	女	75	150	44	O	38	+	105	W.K.	男	89	161	51		7	+
50	K.M.	女	65	149	53	B	7	+	106	W.R.	女	83	150	68			+
51	K.S.	女	85	142	50	B	7	+	107	Y.Y.	女	52	154	55	B	7・89	+
52	K.T.	女	55	165	73	AB	7	+	108	O.Y.	男	71	164	75	A	64	+
53	K.K.	男	81	152	48	O	7	+	109	H.E.	男	56	154	50	O	89	+
54	K.M.	男	63	163	46	A		+	110	M.Y.	女	43	177	70	B	7・12	+

[併用薬] 7: 八味地黄丸エキス剤 12: 柴胡加竜骨牡蛎湯エキス剤 38: 当帰四逆加呉茱萸生薑湯エキス剤 64: 炙甘草湯エキス剤 89: 治打撲一方エキス剤



表2 症例4の生化学検査

	GOT	GPT	al-p	LDH	γ-GTP	CPK	尿酸	UreaN	Creatinin	Na	K	cl	HbA1C	CRP
投与前	47	27	169	328	14	290	9.6	67.3	1.71	136	5.2	99	6.7	3.46
投与後 3カ月	27	13	153	235	12	61	7.2	27.5	1.44	136	4.8	96	6.2	0.55
1年半	23	13	148	184	12	60	5.4	15.4	1.30	141	3.4	104	6.5	0.35

を常用量投与したところ、服用6時間後には杖使用で室内をスムーズに活発に歩けるようになった。翌日夕方よりますます歩行が軽やかになり、自分の体調に不調を感じなくなった。その後、快食・快眠・快便となり、朝5時起床、雨戸を開け朝食を1人で食べられるようになった。言語明瞭となる。日中の居眠りもなくなった。血圧120/70 mmHgとなる。足の湿疹（グジュグジュ）も治った。池の魚に餌やりが可能、ピアノを弾くとき指がふれなくなった。頭がしっかりしたためか？

「EBM (Evidence-Based-Medicine) 不明の薬は止めたい」「私は動脈硬化ではない」と言っている。生化学検査ではCPK, UreaN, CRPが大きく改善した(表2)。

## 考 察

生化学検査では、血流と筋肉・筋力が改善がみられ、腎機能やQOLも改善したことから、疎経活血湯は動脈硬化の薬として使えるといえる。

本方は、『万病回春』の処方である。血虚の風湿痺(行痺)、すなわち関節の運動障害・筋肉の引き攣りに使われる。

血虚とは、血の不足、血流量が少ないことである。貧血でも起こるし、動脈硬化等で血管抵抗が増加すれば起こる。

風湿痺は遊走性の痛みを伴う。関節腔内の軟骨・軟部組織がすり減り、破片や代謝産物が可動部分に存在することにより、関節の動きが悪くなり、痛みが起こる。本方は血行改善作用により、それらの不要物を洗い流すような作用があると思われる。

薬物構成よりみれば、当歸・白芍・熟地黄・川芎は四物湯で補血作用があり、防風・防己・羌活・威靈仙

は祛風湿作用、蒼朮・茯苓は利水作用、桃仁・牛膝は活血化癥作用、白芷は祛寒作用、竜胆草は清熱化湿作用、陳皮・生姜・炙甘草は和胃作用がある。

